

## スピーカーアキュライザーの導入(10)

### —総合試聴—

#### 1. 始めに

前報(9)に引き続き、今回は、オーディオ仲間 2 氏を迎えてスピーカーアキュライザー SPA-7 の試聴を実施します。

#### 2. スピーカーアキュライザー SPA-7 の試聴方法

スピーカーアキュライザー SPA-7 の設定条件は前報(2)に述べたとおりとします。少数のクラシック音源とそれ以外の種々の音源を、再生経路を替えて順次試聴していただきましたが、再生条件は前報(2)から前報(9)のとおりです。頻繁な繋ぎ替えは控え、現状の条件下で SPA-7 の効果を出せるだけ多くの音源で確認していただくことにしました。

機器と再生経路、仮想アースの設置状況、クロック入力、ライブ収録など録音環境、アナログのイコライザーカーブの選択などは、その都度説明を加えました。

#### 3. スピーカーアキュライザー SPA-7 の試聴結果

まずは、アナログからということで、Tohrens TD124 で小川理子の 78 回転アナログ盤と Misty の 45 回転ダイレクトカット最新盤を聴いていただきました。続いて LINN LP12 に移り、Bags Meets Wes の Delilah、Sonny Rollins の SAXOPHON CLOSSUS など、ジャズの定番を聴いていただきました。

次に EMT 981 による CD 再生に移り、ザビア・クガートのピーナッツベンダー、ハリー・ベラフォンテの Jamaica Farewell、Holly Cole の Everyday will be like a holiday、藤田恵美のヘッドフォンコンサート 21、井筒香奈江、フォルクローレのコンドルは飛んで行く、越路吹雪のラストダンス、カントリーの Green Green Grass of Home、Helen Merrill の My Funny Valentine、Martina McBride (ロックシンガー) の Do What Do you のなど、各国の多様な音楽ジャンルから聴いていただきました。

ここで、ファイル音源に移り、先ほどの小川理子の 78 回転アナログ盤からの 5.6MHzDSD 録音音源と藤田恵美のヘッドフォンコンサート 2021 ライブ配信からの 5.6MHzDSD 録音音源、ロン・カーターの放送番組のライブ収録からの 5.6MHzDSD 録音音源などを PC の Hi-Res Editor で再生して聴いていただきました。

また、fidata HFAS1-S10 収録の小川理子の 78 回転アナログ盤からの 5.6MHzDSD

録音音源と藤田恵美のヘッドフォンコンサート 2021 ライブ配信からの 5.6MHzDSD 録音音源、ロン・カーターの放送番組のライブ収録からの 5.6MHzDSD 録音音源などを Brooklyn DAC+に送り出して聴いていただきました。

同様に fidata HFAS1-S10 収録のイオパネマの娘とモーニンの MQA サンプル音源を Brooklyn DAC+に送り出して聴いていただきました。

クラシックについては、配信音源として Spotify から下記を試聴しました。

アントニオ・ヴィヴァルディ チェロ協奏曲集

Hrriet Krijgh(チェロ)

Candida Thomson 指揮 Amsterdam Sinfonietta

J.S.バッハ リュート組曲

Alberto Grugnola(リュート)

J.S.バッハ Goldberg 変奏曲

家喜美子 (チェンバロ)

また、このところ集中的に聴いている STAGE+から下記を試聴しました。

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

ベートーヴェン ピアノソナタ 32 番

マウリチオ・ポリーニ (ピアノ)

以上の個々の印象は逐一述べませんが、まとめると次のようになります。

- ・音源の種類、再生経路、ジャンルによらず、生演奏のような実在感が感じられる。
- ・特にライブ収録音源は、環境音も含めてそのような印象が強い。
- ・古い録音音源の良さも再認識でき、リバーブなど録音テクニックの状況も分かりやすい。
- ・モノラル LP でも立体的な音場表現になっている。
- ・ロッキーの配信でもロスレスのような再現性が得られている。
- ・藤田恵美の CD、同じく藤田恵美のライブ配信からの 5.6MHzDSD 録音ファイル音源の PC 経由再生とミュージックサーバーから USB 経由の再生の間に大きな違いは感じられない。
- ・小川理子の 78 回転盤アナログ再生とアナログからの 5.6MHzDSD 録音ファイル音源に大きな違いは感じられない。

最後に CD 再生に戻って上記の藤田恵美やハリー・ベラフォンテのライブ収録 CD の SPA-7 のあるなしで比較していきましたが、SPA-7 を外すと音場が平面的になり、音の焦点がぼやけてしまうということでした。

なお、初めてお越しいただいた方からは、FAL のスピーカーに ENIGMA の静電型

スーパーツイーターとムラタのセラミックツイーターを加えたことによる、解像度と臨場感の向上、その他も含めてうまくチューニングされており、長く音楽をゆったり聴ける環境になっているとのことでした。とりわけ、スピーカーアキュライザーは評判どおりの音像感、音場感の改善が素晴らしく、一度使えば外せないようだったとのことでした。

なお、3Bを中心に中世の宗教音楽からバルトークあたりまでヨーロッパ音楽をカバーしつつ構築してきたシステムが、スピーカーアキュライザーで一挙にグローバル化したこと、クラシックからコンテンポラリーまでの評価を得たことは大きな収穫でした。

#### 4. まとめ

音源の種類、再生経路、ジャンルによらず、SPA-7の効果を認めていただけました。なお、今後のSPA-7の配置の見直しその他追加の計画などについてもご協力をお願いしました。

以上